



月刊美術

2021年10月号にて

『森ゆだね展 爽楽天女』を
ご紹介いただきました

森ゆだね展 爽楽天女

11月20日(土)～25日(木) 休 23日(火・祝)

かわうそ画廊

東京都中央区新富1-8-11 東新ビル4F

☎03(3552)0550

12:30～18:00 / 最終日～17:00

<https://kawausogarou.com>



もり・ゆだね

1979年愛媛県生まれ。2005年広島市立大学大学院修了。第60回春の院展初入選。個展、グループ点多数。日本美術院院友。

新富町
11月

浮遊する天女の戯れ



《流れの名》 27×24cm 紙本彩色



《風冠》 27×24cm 紙本彩色



《見上げて》 27×24cm 紙本彩色



《●●》 27×24cm 紙本彩色

日本画

地元の瀬戸内の風景や月をモチーフとした日本画を描き、院展で研鑽を重ねてきた森ゆだね。もうひとつの制作の軸である裸体の飛天は、線を生かした軽いタッチで描き続ける。空中ブランコ乗りの女性がモデル。重力から解放された裸体美とそのし

なやかな動きは、心地よい風に乗るよう。自由で軽やかな天女の戯れに動画が想起されて心地よい。人気の可愛い吉祥猫も含めて、森ゆだねが描くおらかな作品の魅力を展観する。